

サービス改善計画書

策定日：令和8年2月14日

事業・サービス名：共同生活援助

施設・事業所名：きららホーム

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考 (必要な予算等)
人権の擁護		障害のある方との関係取り方について、対人援助の職場として絶えず点検と見直しが必要。	法人主催の「虐待防止研修会」をいかし、人権という視点から日々の援助の在り方を振り返る。	R8年4月～R9年3月	サービス管理責任者	
個別支援計画の実施		日々の細やかな支援は、月ごとのケア会議で検討・実施しているが、その支援内容を「計画」としてわかりやすく入居者に説明することは十分でない。	「日々の記録と月次のまとめ」の流れを活かし、「わかりやすい」支援計画の作成と説明。	R8年4月～R9年3月	サービス管理責任者	
家族との連携		ご家族の高齢化に伴い、家族一人、支援者の関係が変わりつつある。また新しく入居された比較的軽度で若年入居者の家族と、しっかりとした関係を構築する課題が生じている。	高齢になられた家族との役割分担の見直し、他の家族との信頼関係の構築、成年後見制度、選任された後見人、保佐人、補助人との連携を図る。また、新入居者について相談支援機関と連携しつつ家族との定期的な面談を実施する。	R8年4月～R9年3月	サービス管理責任者	
健康管理		入居者自身の多くが中年から高齢の年齢になっており、既往の障害・疾患プラス加齢に伴う身体機能の衰えが課題となっている。	嘱託医療機関及び主治医と連携し、本人と健康についての課題認識を共有することを出発点に、サポートを行う。	R8年4月～R9年3月	サービス管理責任者	
余暇レクリエーション			ホームとしての年間行事計画を立て、実施する。また、個人単位の移動支援による個人外出をサポートする。	R8年4月～R9年3月	サービス管理責任者	
生活環境の整備		青地ホームは、改装開設後14年が経ち、水回り関係などに改修が必要になっている。	R6年度に、青地ホームで「流し」の更改、2 f の1居室のフローリング化を実施。また、志津ホーム（ワルムマンション）では、2居室で退去に伴う居室整備を行った。	R8年4月～R9年3月	管理者	
事業所内研修			法人主催の「実践報告会」にホームの取り組みを継続的に報告できる力を職員集団として獲得する。救急救命研修など全職員が定期的に履修することを方針とする。	R8年4月～R9年3月	サービス管理責任者	
リスク管理		大規模災害に備える。	BCP計画に基づき、総合防災訓練の実施・研修、備蓄品の整備を進める。	R8年4月～R9年3月	管理者	